

あらりと光る



小笠原副社長

## 大和軽合金

テックコートはボイラーなど、化石燃料を燃焼させ発生する排出ガス（燃焼ガス）に特化した耐熱塗料。公益財団法人とくしま産業振興機構の支援を受け、工場・益田茂明氏（徳島県松茂町、社長）が徳島県立工業技術センターと共に開発、12年から販売を開始している。アルミ鋳物

# わが社の得意技



アルミ溶融炉24基に成功年間10%を超える燃料代節減に成功

炉内温度が上昇。炉内温度のぼらつきも少なくなる。また、バーナー周辺の口金に塗ることで、火炎温度が上昇する効果もあり、燃料消費につながる。塗るだけ

「アルミ溶融炉にも応用できるのでは」。もともと費用につながる。塗るだけ

いハウス農家を助けたい」との思いで開発。12年に農業事業」に採択され、全国の施設園芸農家のハウス暖房機で500台余り施工されている。現在、ハウス農家

小笠原副社長は「原油価格の高騰によるエネルギーコストの上昇に頭を痛めていた。同業者は多いはず。テ

クコートは塗るだけ

をPRしている。

## 塗るだけ で省エネ 溶解炉にも普及へ

### エコテックの「テックコート」 〔耐熱〕塗料

メーカーの大和軽合金も販炭化ケイ素系またはジルコニア系塗料であるテック

面に取り組んでいる。面に薄く塗布するだけで、火炎からの熱吸収率が増加、「重油コスト負担が大き

く。その結果、「年間10%を超えるA重油の節減に成

功した」。

同社では、「いいものはどんどん世の中に広げていきたい」との思いで、ホームページに「省エネルギー対策」のコーナーを立ち上げ「テックコート」の効果をPRしている。

原昭吾副社長は、自社のアルミ溶解炉24基のパートナ

知の仲の大和軽合金・小笠

原昭吾副社長は、自社のア

ルミ溶解炉24基のパートナ

ーにテックコートを使用し

た。その結果、「年間10%

を超えるA重油の節減に成

功した」。

同業者に使ってもらつて

スが高い。同じ悩みを抱え

る同業者に使ってもらつて

と、業界全体の省エネ対

策、ひいては収益向上の一助になれば」と話す。